

# 2023 岐阜空襲のつどい

## ～体験者が語る岐阜空襲～

もうすぐ岐阜空襲から78年目の夏を迎えます。昭和20(1945)年7月9日夜、岐阜市は米軍爆撃機B29の焼夷弾攻撃により、900人近い市民が亡くなりましたが、犠牲者の数もお名前も正確にはわかっていません。焼死して腐敗し始めた引き取り手のないご遺体は、上加納墓地の山すそに大きな穴を掘って埋められました。墓地の東側にある駐車場の横に、岐阜市仏教会が『萬霊供養塔』を建てて、今も供養されています。裏面には「大空襲にあって、悲惨の焼死を遂げ、あと弔う人なく、無縁仏となってこの墓地に葬られし387人のおもえば・・・」と刻まれています。

岐阜空襲で亡くなったにも関わらず、お名前も明らかにされない無念の犠牲者387人が無縁仏として78年も眠ったままとなっています。

岐阜空襲を直接体験された方も、少なくなってきましたが、その記憶を紙芝居に描いて語り継がれている方や、中学校などでも体験を語り継がれてこられた方のお話をうかがいます。

なお、会場に来られた皆さんから戦争体験を語っていただく時間もありますので、一緒に戦争のない未来を願って語り合いましょう。



【上加納墓地の万零供養塔】

日時：2023年7月8日(土)

13時30分受付 14時開会

16時ごろ閉会

内容 岐阜空襲を体験された方のお話

場所：ハートフルスクエアG 2階 研修室50 (JR岐阜駅構内東)

参加費：無料

主催：岐阜市平和資料室友の会

〒500-8879 岐阜市徹明通7-13 岐阜市教育会館3F

新日本婦人の会岐阜支部 Tel：058-215-7601

連絡先：090-8135-9452 (友の会事務局長 魚次)

共催：コープぎふ平和委員会(クラブ)

後援：全岐阜県生活協同組合連合会